子牛の育成方法の改善
～市場で好まれる子牛の生産を目指して～

１　普及活動のねらい

和牛繁殖経営では、子牛の販売単価が経営の趨勢を決める重要な要素であり、販売単価は出荷時の体重に大きく依存する。管内で就農して４年目になる和牛繁殖農家では、子牛の育成方法に問題があり、増体が悪く市場での販売価格が伸び悩んでいる。そのため、より子牛を増体させ市場での高い評価を得るための育成方法について改善策の策定と実施を支援した。

２　普及活動の成果

和牛繁殖農家では、１）横臥に十分な牛床面積の確保、２）不適切な餌槽の形状、３）給餌時の粗飼料の長さ、４）濃厚飼料の銘柄変更の４つの改善策を実施することで、生育途中の発育（σ）の上昇と出荷時の日齢体重が増加した。また、家畜の性質や生理現象に対する理解が深まるとともに、子牛の増体の高める飼養管理を継続して行う意向を持った。

３　普及活動の内容

問題点を抽出するために、飼養環境の調査及び飼料給方法の聞き取りを行った。調査及び聞き取りの結果から、１）牛床面積の不足、２）餌槽の形状、３）粗飼料の給餌時の形状、４）飼料銘柄に問題がある事が明らかになった。それらの問題に対して１）グレーチング等を利用、２）羽板の撤去、３）粗飼料裁断機の利用、４）飼料銘柄の特性を説明し、改善策の実施を支援した。改善策の成果を把握するため、飼養中の６頭の胸囲を経時的に測定した。



写真　牛床の改善後の様子

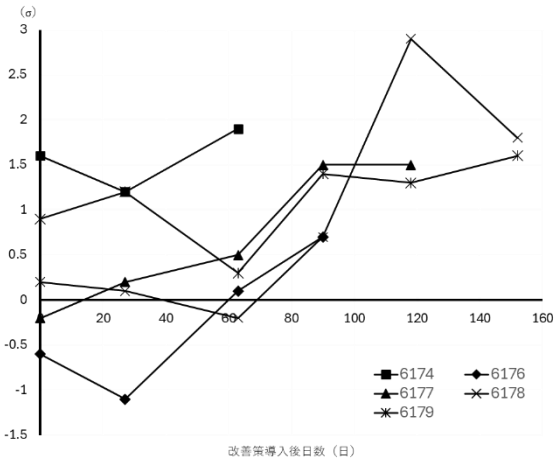


図　改善策実施後の子牛の胸囲の推移

重点課題名	５　持続可能な畜産経営に向けた整備の推進
普及事項名	（２）和牛繁殖農家における経営改善